

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況 2011年10月2日現在（最終）

概況：ノース・ダコタ州の2011年10月2日に終わる1週間の気象は、平年より高目の気温で平年より少ない降雨の気象であった。各地好天に恵まれ硬質春小麦及び Durum 小麦の収穫は順調に進み、硬質春小麦の収穫は昨年より多少早く全州にて完了した。春先の湿潤低温気象の為、農作業の開始は例年より2週間以上の遅れを呈していたが、初夏からの天候が良好であったことより、春小麦の生育は順調であった。夏季の乾燥気象のお蔭で心配された赤さび病（Scab）の発生は少なかったが、一方急速な登熟となり萎縮粒や砕粒の発生となり低容積重は低目であった。ノースダコタ大学の品質分析の報告では、蛋白質の平均値は14.9%、容積重は60 lbs/bu、萎縮粒と砕粒等 Defect は2%であり、今年の硬質春小麦の品位は高蛋白で萎縮粒と砕粒が平年より多い傾向であった。

2011年10月2日現在：土壌水分(*)

		(%)	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		2	19	72	7
	Last week		1	15	74	10
	Last year		0	4	82	14
	5-Yr Avg.		8	23	63	6
Subsoil	This week		1	10	75	14
	Last week		1	9	73	17
	Last year		0	5	80	15
	5-Yr Avg.		13	24	57	6

2011年10月2日現在：春小麦の生育状況(*)

		(%)	This week	Last week	Last year	5-yr. Average
Spring w.	Harvested		100	93	98	99
Durum	Harvested		98	92	87	95

(*) Source: USDA, NASS North Dakota Office. 5-yr average means 2006, 2007, 2008, 2009 & 2010 crop average.

以上